

「お金について調べよう」 —調べ学習のスキルを身に付けよう—

(総授業時数：18時間)

実施学年、教科等

第1学年 1学期（または前期） 総合的な学習の時間

単元の目標

- (1) 「お金」に関する自分の課題（小テーマ）を調べ、発表する活動を通して、今後の総合的な学習の時間の、課題解決学習の基礎的な方法を身に付けることができるようにする。
- (2) 中学生に身近な「お金」に関する疑問点について、自ら進んで課題意識をもち、課題を解決しようとする態度を育てることができるようにする。
- (3) パソコン室や図書館を利用して調査する活動や、施設や機関への訪問インタビューを通して、調べ方を理解したり、電話をかけるマナーや人との接し方が適切にできるようにする。
- (4) 学習を通して自分の成長に気付くことができるようにする。
- (5) 健全な金銭感覚を養い、金融にかかわる様々な知識を得ることができるようにする。

学習の評価

- (1) 自分の興味・関心をもとに、小テーマを明確に設定し、課題の解決のために情報を収集し、整理分類を行っている。また、調査したことを分かりやすく整理し、レポートにまとめ、グループで協力し、効果的に発表している。(レポート・発表)
- (2) 課題の解決に向けて、見通しをもって意欲的に調査活動に取り組んでいる。また、調査結果から問題点を見つけ、原因を追求し、さらに深く探求しようとしている。(ワークシート)
- (3) パソコン室や図書館の利用、訪問インタビュー、電話によるインタビューなどを適切に行うことができている。(レポート・発表)
- (4) 学習を通して自分の成長に気付いている。また、努力した、しなかった等を振り返っている。(ワークシート)
- (5) 「お金」に関して、健全な金銭感覚を身に付けている。また、金融に関する知識を得ている。(レポート・発表)

展開の特色

- (1) 総合的な学習の時間は、地域に根ざした教育や、ボランティア活動など、どの学校でも特色ある教育として、様々な教育活動を行っている。中でも自ら学ぶ意欲を育て、自ら課題を解決できる能力の育成に力を入れて、総合的な学習の時間を展開している学校が多い。課題を設定する時に、生徒の興味関心がスタートになると、テーマの幅が広く、初めての生徒はなかなか課題が設定できないケースも見受けられる。
- (2) 今回は、中学入学後間もない、1年生の1学期での総合的な学習の時間の導入部で、大きなテーマを身近な「お金」に設定し、小テーマを考えさせ、同じ傾向の者をグループにして、調べ方や発表のスキルを学ばせたいと考える。
- (3) 大テーマの「お金」については、望ましい金銭感覚の育成や、経済の仕組みの理解、消費者としての自覚など、様々な課題を含んでおり、発展性が広く、どの地域でも取り上げやすい普遍性の高いテーマである。

その他

小テーマの設定については、今回は生徒の発想でグループ分けを行うが、インタビューに行きやすい機関や、地域に合わせて、教員が意図的に小テーマを提示し、選択させる方法も考えられる。

「学校における金融教育の年齢層別目標」の該当項目

*記号については、P.32～45を参照。

Bーア・ウ、Cーア・イ

学習内容のキーワード

お金、訪問、企業、商店、銀行、証券会社、保険会社、税務署、HP、施設、レポート

1 金融教育のねじりと基本的性格

2 金融教育の目標と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

●指導計画

時数	ねらい	学習内容・学習活動	◆金融教育の視点	★指導上の留意点	その他 (教科等との関連)
1	<ul style="list-style-type: none"> これからの総合学習について課題を設定する。 自分の課題(小テーマ)を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ●総合的な学習の時間について <ul style="list-style-type: none"> ・学年全体で話を聞き、これからの総合的な学習の時間の概要を理解する。 ●「お金」について調べよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べ学習のスキルを身に付けるために、今回の共通テーマを「お金」に関することとし、小テーマを考えさせる。 <p><想定される小テーマ例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お金の歴史を調べよう。・今までの自分にかかった費用はいくらか調べてみよう。・銀行について調べてみよう。・税金はなぜ必要か、どんなことに使われているか。・お金を増やすにはどうしたらよいか。・最近のお金の被害事件など 	<ul style="list-style-type: none"> ◆身近な「お金」は、なくてはならないものである。 ◆お金にまつわる最近のニュース報道について気になることを考えさせる。 ◆「お金」にかかわる分野にはどのようなものがあるか考えさせる。 ◆小テーマ設定時のアドバイスとして、経済的な分野、金融的な分野、消費者的な分野、キャリア教育的な分野等があることを解説する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★総合的な学習の時間について、資料を用意し、学年集会で説明する。 ★今後の予定の発表。図書館やインターネットで調べるだけでなく、機関を訪問してインタビューすることを話しておく。 ★小テーマを例示し、自分のテーマを考えさせる。 ★総合的な時間用の綴じ込みファイルを用意しておく。 	
2	<ul style="list-style-type: none"> 自分のグループの課題(小テーマ)を決定する。 課題の追究をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●グループの小テーマを決定しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・個人の小テーマの関連の深い者どうし3~5人程度のグループに編成し、訪問調査や研究のまとめ等を一緒に活動していくこととし、共通の小テーマを考えさせる。 ●調べる内容や訪問先を検討しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・どこに行き、誰に何を聞いたらいいかグループで検討させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆いろいろな企業活動や商店の経営もお金にかかわっていることや、身近にも、お金を扱っている銀行、証券会社、保険会社、税務署などがあることなどをアドバイスし、小テーマの参考にさせる。 ◆年金問題や税金などもお金にかかわる問題であることをアドバイスする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★グループ分けをしておく。 ★それぞれが考えた小テーマを発表させ、グループのテーマを決定させる。 ★これから何を調べていくか、話し合わせる。 ★新聞の経済面なども参考に見せるとよい。インタビュー先の検討もさせる。 	
3 4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> 調べ方を知り、調査する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●調べ方を知る(1)「インターネットで調べてみよう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・パソコン室の利用について学習する。 ・金融庁のHPや金融広報中央委員会(知るぽると)のHPを開いて自分の小テーマに関する内容を調べる。 ・銀行や証券会社等のHPを開いて自分の小テーマに関する内容を調べる。 ●調べ方を知る(2)「地域の図書館で調べてみよう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・地域の図書館と事前に連絡を取っておき、利用方法を説明してもらう。 ●調べ方を知る(3)「その他の調べ方を学ぼう。」 <ul style="list-style-type: none"> ・専門家へのインタビューによってより深い理解ができたり、アンケートをとって集計したり、実験して結果を出す方法を教員の説明によって理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆金融庁のHP(ホームページ)と金融広報中央委員会(知るぽると)のHPを開いて、自分たちのテーマに関する内容があるか調べさせる。 ◆日本銀行やその他の銀行、証券取引所、証券会社等もHP検索できることを、テーマに関連している者にアドバイスする。 ◆最近の消費者問題の被害傾向や対策などは、国民生活センターや東京都消費生活総合センターのHPで検索できること等を、テーマに関連している者にアドバイスする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★パソコン室の利用についての解説を行い、インターネットでの検索方法について学習させる。 ★図書館では新聞の縮刷版も調べられることにふれてもらう。 ★そのほかの調査「アンケートで調べる」や「実験で調べる」等の方法について説明用のレジュメを用意しておく。 ★パソコン室、図書館、教室を担当グループごとにローテーションして活用する。 ★インタビュー先の検討をさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検索ソフトの利用(技術・家庭科) ・地域の図書館と連絡を取っておく。
7 8	<ul style="list-style-type: none"> アポイントの取り方を知り、実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ●インタビュー先にアポイントを取ろう。 <ul style="list-style-type: none"> ・インタビューする前にアポイントを取る必要性を理解する。 ・資料を読んで電話のかけ方を学ぶ。 ・実際に電話をかけてアポイントを取る。 ・事前に質問内容をまとめ、FAXやメールで知らせておく。 ●交通機関の利用方法を確認しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネット等を利用し、出発時間や行き方、費用等をワークシートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆貨幣博物館や造幣局などの施設があることをアドバイスする。 ◆地域の銀行や証券会社、税務署、郵便局など、自分のテーマにそった訪問先を検討させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ★電話でのアポイントの取り方、訪問時のマナー、お礼状の書き方について資料を用意する。 ★訪問先が決定したら、交通機関、費用を調べさせ、ワークシートに記入させておく。 ★訪問先周辺の地図を用意する。 ★訪問場所を確認し、教師からも依頼状を出しておくとい。 	
9 10 11 12	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー先に訪問し、話を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●インタビューに行こう。 <ul style="list-style-type: none"> ・マナーや安全に注意して訪問する。 ・インタビューの内容を記録しておく。必要であれば写真等をとる。 ・学校に戻って報告する。 ・お礼状を書く。 		<ul style="list-style-type: none"> ★いただいた資料などをファイルさせておく。 ★訪問先にお礼状を出させる。 	
13 14 15 16	<ul style="list-style-type: none"> 個人レポートと、班ごとの発表シートにまとめ、発表の準備をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●調査した内容をまとめ、発表の準備をしよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・訪問先のインタビュー記事や、各自インターネットや本で調べた内容をもとに、個人レポート及び、班ごとの発表原稿、発表用OHPシート等にまとめさせる。 ・発表の方法をグループで工夫させる。 		<ul style="list-style-type: none"> ★調べ学習が足りないときは、インターネット調査の時間を作る。 ★OHPシートでの発表のほか、模造紙やパワーポイントの活用、寸劇、紙芝居、クイズなどグループでの発表の仕方を工夫させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・OHPで発表できるようにシート等の準備をしておく。
17 18	<ul style="list-style-type: none"> 発表し、自己評価、及び相互評価をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●発表会をして、お互いに評価しよう。 <ul style="list-style-type: none"> ・班ごとの発表会をし、相互評価及び自己評価をさせる。 ・今までを振り返り、感想を書く。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆健全な金銭感覚を身に付けることができたか。 ◆金融にかかわる様々な知識が得られたか。 	<ul style="list-style-type: none"> ★クラスでよかったものは学年集会で発表させる。 ★今までを振り返り、感想を書かせる。 	

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目的と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

1 金融教育のねらいと基本的性格

2 金融教育の目的と方法

3 金融教育を支援する関係機関等の活動

4 金融教育の指導計画の作成と実施に向けて

5 小学校における金融教育

6 中学校における金融教育

7 高等学校における金融教育

資料

